

アメリカ



Vol.1 16歳のバースディは特別～Sweet 16

今回は、生まれも育ちもアメリカ・ニューヨークという上田直美さんにお話をうかがいました。

年齢はおいくつですか。

31歳です。

家族構成を教えてください。

父、母、姉、そして私です。でも、ニューヨークで生まれたのは私だけです。

ご家族はいつからアメリカで暮らしているのでしょうか。

約33年前に私の父がNYに移り住んだそうです。アメリカという国に「何か」を感じたから、だそうです。

アメリカと日本との生活の違いなどは感じますか。

アメリカでの生活では、違う文化や民族性をもった人たちが大勢います。私は、これがアメリカの生活で最もすばらしいことだと思っています。おかげで、様々な国の人たちと友達になることができました。アメリカは、視野を大きくさせてくれ心まで広げてくれる広大な国です。

ニューヨークは大都会なので、生活はせわしく、みんないつも急いでいて、ありとあらゆるところが混雑します。中には親切でない人もいますし……。

日本はとても住みやすいと思います。東京や大阪などの大都市とNYは似ているところがあります。日本の方が、もっと混雑していますけどね。

日本の若い人たちは、とてもスタイリッシュでファッションセンスが高いですね。

混雑の度合いも違いますか。では、交通手段なども違いますか？

違います。まず自転車ですが、日本人は自転車を移動手段として使っていますよね。ところがアメリカではもっとレクリエーション用で、スポーツやトレーニング目的で自転車に乗ります。

アメリカ暮らしが長いと、日本の車やトラックはおもちゃみたいに見えます。NYではもっともっと巨大なトラックを目にしていたから。日本は道もとても狭いから、私が日本で運転したらきっと交通事故を起こしてしまうでしょうね。

誕生日のパーティーなどはやりますか？

こちらでは、誕生日パーティーは重要なお祝いですが、子どもたちのものというのが一般的です。パーティーには、たいていテーマを設けていて、例えば、その子がくまのプーさん好きなら、飾り付けもケーキも、プーさんにちなんだものを用意します。誕生日会に招待された子供達はキャンディーやおもちゃの入った小さな包みをもたらします。

そのほかに、誕生日の特別な行事はありますか？

Sweet 16 というのがあります。これは、16歳になった女の子のための、アメリカの伝統的な行事です。Sweet 16バースディパーティーというのがあるのですが、これは女の子にとっては大事なイベントなのです。ダンスをしたり、お食事をしたり、ケーキを食べたり……。

その時のプレゼントは、日本とあまり変わらないと思います。お洋服やアクセサリ、CDなどですね。あと、決まったメインディッシュもないと思います。ポテトチップスやスナック菓子、クッキー。あと、チキンやピザ、ホットドッグなんかが出されます。それぞれの好みだし、予算にもよります。

大人になると、誕生日会はあまり開かれませんか？

大人のための誕生日会もよく開かれます。私自身は、家族に誕生日会をしてもらおうということはありません。友達と外にご飯を食べに行き、お酒を飲みます。特別な人と、というわけではありませんが……。

サプライズ(びっくりさせる)パーティーを企画する人もいます。

職場によりますが、同僚がちょっとおどろかせるようにパーティーを企画します。私の働いている病院では、私の誕生日にピザやバースディケーキを準備してくれ、プレゼントももらいました。

アメリカの女の子にとって、16歳のバースディは大人の入口に立つ日とされているようです。誕生日の「サプライズ」も楽しそうですね。

次回もアメリカの行事についてお届けします。

アメリカ



Vol.2 幸せは、みんなで分ける。～にぎやかなクリスマス、そして結婚式

「家族の世界地図」、今回も、ニューヨーク育ちの上田直美さんにお話をうかがいました。

アメリカと言えば豪華なクリスマスパーティーを想像しますが、どこの家庭でもやるのですか？

私の家族は家でクリスマスのお祝いしません。クリスマスパーティーは職場の人たちが開いてくれます。去年は私の上司が全従業員を集めてディナーに連れて行ってくれ、ボーナスもくれました。アメリカ人の友人の家族は、毎年クリスマスイブに家族一緒に夕食会をしています。

クリスマスディナーのメニューの定番は？

七面鳥やハム、コーン、マッシュドポテトなどがディナーのメニューのようです。デザートには、ケーキ、クッキー、パイなどです。

家庭でのクリスマスの飾り付けはどのようなものですか？

友人の家では、クリスマスツリーを飾って、他にもライトでキラキラに飾り付けをしています。

クリスマスプレゼントの交換は？

クリスマスプレゼントは、クリスマスイブに開けてしまう家もあれば、クリスマスの朝にあける家もあります。クリスマスイブかクリスマスの朝には教会へ行くようです。私がプレゼント交換をするのはもっぱら友人とです。私は友人から、セーターやスカーフ、本やCDなどをクリスマスプレゼントにもらったことがあります。親友には、40～60ドルのプレゼントを贈ります。職場の同僚へは、もっと手ごろなカレンダーやワイン、本や写真立てなどをプレゼントします。

結婚式はどのようなところで挙げるのですか？

結婚式は教会や屋外など様々な場所で挙げられています。私の友人はマンハッタンにあるSt. Patrick大聖堂で結婚式を挙げました。そして、披露宴は素敵なレストランで行われました。来年結婚する友人は、カトリック教会で式を挙げて、同じようなレストランで披露宴をするようです。ハワイに住んでいる友人は、ホテルの屋外の庭園で結婚式を挙げました。

披露宴はどのように行われるのですか？

もっとも伝統的な披露宴は花嫁の付添い人(独身者)の手によるものです。花嫁の付添い人は、式の前に独身女性のパーティーやブライダルシャワーの準備をします。花婿側には、親友か付添い人がつきます。同じように独身男性パーティーの準備をして、花婿の結婚式の準備をお手伝いします。アメリカの披露宴では、音楽あり、ダンスありととてもにぎやかです。ウェディングケーキ入刀もします。

日本と違う伝統はありますか？

伝統的には、「ガーターダンス」と呼ばれるものがあります。花嫁は花嫁衣裳にガーターベルトをつけており、花婿がそれをはずして独身男性の輪の中に投げます。花嫁はブーケを独身女性の輪の中に投げます。ガーターベルトをキャッチした男性はそのガーターベルトを、ブーケをキャッチした女性につけるのです。食事のメニューには伝統的なものはないと思います。花嫁と花婿の希望によって決められています。

アメリカの女性は、結婚しても仕事を続けるのですか？

大多数の女性が結婚しても仕事を続けていると思います。私の友人で、結婚した人はみんな、仕事を続けています。ですが、母親になると仕事をやめる人がいるようです。そうしなければいけないという風潮からではなく、望んで決めています。

個人の自由が尊重されるお国柄がわかりますね。次回からは、デンマークについてお伝えします。